

R6年度前期 神宮寺小学校 学校評価アンケート（保護者用）

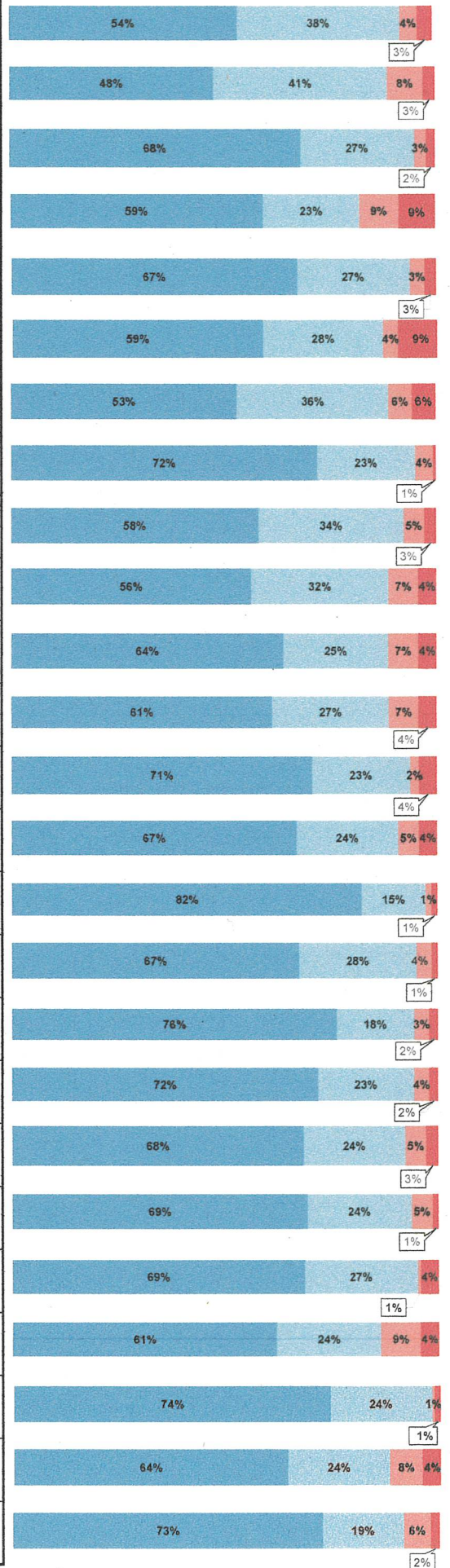
A：あてはまる B：まあまああてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	評価項目	A	B	C	D	肯定 比率
1	子どもたちは、気持ちの良いあいさつや返事ができている。	50%	46%	4%	0%	96%
2	子どもたちは、時間を守って行動している。	27%	56%	17%	0%	83%
3	子どもたちは、学校や社会の決まりやマナーを守って生活している。	39%	56%	5%	1%	95%
4	こどもは、自己肯定感を身に付けている。	37%	56%	7%	1%	92%
5	子どもは、相手の良いところやがんばっているところを見つけることができる。	50%	43%	6%	2%	92%
6	子どもは、困ったことがあったとき、誰に相談したらよいかわっている。	57%	40%	2%	1%	97%
7	子どもたちは、人をいたわったり、相手の立場に立って考えたりする心が育っている。	44%	47%	7%	2%	92%
8	子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。	34%	46%	19%	2%	80%
9	子どもは、学習したことを身に付けている。	38%	56%	5%	1%	94%
10	子どもは、宿題等家庭学習を行う習慣が身に付いている。	32%	43%	23%	2%	75%
11	子どもは、体力向上に向けて努力し、たくましく成長している。	47%	41%	8%	3%	89%
12	子どもたちは、うがい手洗いの習慣が身に付いている。	35%	50%	13%	2%	85%
13	子どもたちは、自分のやるべきことに責任をもって取り組んでいる。	33%	56%	11%	0%	89%
14	子どもは、何事もすぐにあきらめずに最後まで取り組もうとしている。	38%	50%	11%	1%	88%
15	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	45%	52%	4%	0%	96%
16	学校は、子ども達の理解に努め、悩みやトラブル等について、適切に対応している。	41%	54%	5%	0%	95%
17	学校は、子ども達の良いところや頑張ったことを適切に評価している。	60%	37%	3%	0%	97%
18	学校は、子どもがわかりやすいように工夫して学習指導を行っている。	47%	48%	5%	1%	95%
19	学校は、子ども一人一人を大切に、困り感に応じた学習支援や配慮を行っている。	51%	47%	2%	0%	98%
20	学校は、掲示物や栽培・清掃等できれいな環境づくりに努めている。	55%	44%	1%	1%	98%
21	学校の教育活動に満足している。	48%	50%	2%	1%	98%
22	学校は、計画的に読書活動に取り組んでいる。	48%	45%	5%	2%	93%
23	学校は、施設設備や通学路の安全に配慮し、子どもの事故防止に努めている。	44%	52%	3%	1%	96%
24	学校は、教育方針、教育活動、子どもたちの様子を学校だより・学年だより、授業参観等を通して保護者に伝えている。	68%	31%	1%	1%	98%
25	学校は、PTAや地域の方々と協力して、教育活動を進めている。	63%	36%	1%	1%	98%

R6 年度前期 神宮寺小学校 学校評価アンケート（児童用）

A：あてはまる B：まあまああてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	評価項目	A	B	C	D	肯定 比率
1	気持ちのよいあいさつや返事をしている。	54%	38%	4%	3%	92%
2	チャイムを聞いたり、時計を気にしたりして、時間を守って生活している。	48%	41%	8%	3%	89%
3	学校や社会のきまりやマナーを守ろうとしている。	68%	27%	3%	2%	95%
4	自分には、よいところがあると思う。	59%	23%	9%	9%	82%
5	友だちのよいところや頑張っているところを、見つけることができる。	67%	27%	3%	3%	94%
6	困ったことや気になることを相談できる人がいる。	59%	28%	4%	9%	87%
7	相手のことを考えて、行動したり話したりすることができている。	53%	36%	6%	6%	89%
8	授業に一生けんめい取り組んでいる。	72%	23%	4%	1%	95%
9	学習したことが身についている。	58%	34%	5%	3%	92%
10	宿題や自学などの家庭学習に進んで取り組んでいる。	56%	32%	7%	4%	89%
11	外遊びや、体育を通して進んで運動に取り組んでいる。	64%	25%	7%	4%	89%
12	自分から、うがい・手洗いをしている。	61%	27%	7%	4%	89%
13	係や委員会の仕事に責任をもって取り組んでいる。	71%	23%	2%	4%	94%
14	何事もすぐにあきらめず、さいごまで取り組んでいる。	67%	24%	5%	4%	91%
15	先生方は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	82%	15%	1%	1%	97%
16	先生方は、自分のことをわかってくれようとしている。	67%	28%	4%	1%	95%
17	先生方は、自分の良いところやがんばったことをほめてくれる。	76%	18%	3%	2%	94%
18	授業は、わかりやすい。	72%	23%	4%	2%	94%
19	先生方は、一人一人を大切に、学習や生活で困っている時に助けてくれる。	68%	24%	5%	3%	92%
20	学校をきれいにするために、そうじやゴミ拾いなどの活動を生けんめい行っている。	69%	24%	5%	1%	94%
21	学校は楽しい。	69%	27%	1%	4%	95%
22	本を読む習慣がついている。（朝読書を含める）	61%	24%	9%	6%	85%
23	登下校時には、ルールを守り安全にすごしている。	74%	24%	1%	1%	98%
24	学校であったことを保護者に話したり、学校から配られた手紙を渡したりしている。	64%	24%	8%	4%	88%
25	保護者や地いきの人の協力に感謝している。	73%	19%	6%	2%	92%



令和6年度 前期 学校評価の結果から (※ 新規質問項目)

◇保護者から

(1) 肯定的回答(当てはまる・まあまあ当てはまる)率が90%以上の設問の例

調査項目	肯定比率	前回比
1 子どもたちは気持ちの良いあいさつや返事ができている。	96%	+12%
3 子どもたちは学校や社会の決まりやマナーを守って生活している。	95%	※
6 子どもは、困ったことがあったとき、誰に相談したらよいか知っている。	97%	※
15 学校はいじめや暴力のない学校づくりに努めている。	96%	+8%
17 学校は子ども達の良いところや頑張ったことを適切に評価している。	97%	+4%
22 学校は計画的に読書活動に取り組んでいる	93%	
24 学校は教育方針、教育活動、子どもたちの様子を学校だより・学年だより、授業参観等を通して保護者に伝えている。	98%	+1%
25 学校はPTAや地域の方々と協力して、教育活動を進めている。	98%	+5%

1、3については家庭でのマナーやしつけの声かけ、学校での目指す児童像「気持ちの良いあいさつや返事ができる」に関する指導等、学校・家庭が協力して児童を育てようとする姿勢が表れていると考える。

6、15については、SCによる全校面談や、学校だより・保健だよりによるSC・教育相談員の相談窓口の紹介等が要因として考えられる。また、学校・家庭が日々のコミュニケーションを大切にし、児童や家庭との信頼関係づくりに努めている点もあると考えられる。引き続き、SC・教育相談員と連携しながら、児童や家庭との信頼関係構築に努めていきたい。

17については児童が家庭において、ほめられたことを伝えている結果と考えることができる。

22については、落ち着いて学校生活を進められるようにと取り組んでいる朝の読書活動、司書やボランティアの方による定期的な読み聞かせ活動の理解が進んだと考える。

24・25については、学校・家庭・地域が協働・共有体制を推進してきたことへの評価であると考え。今後も3者が手を取り合い、学校力・地域力の向上を目指すようにしていきたい。

(2) 肯定的回答率が80%以下の設問

8 子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいる。	80%	※
10 子どもたちは、宿題等家庭学習を行う習慣が身についている。	75%	+7%

8については、18「学校は子どもにわかりやすいように工夫をして学習指導をしている。」についての肯定比率95%、19「学校は子ども一人一人を大切にし、困り感に応じた学習支援や配慮を行っている。」についての肯定比率98%であり、学校への評価と期待があると感じることから、今後も創意工夫を取り入れた授業の展開や、一人一人を大切にしたい授業を組み立てることに努め、児童の意欲向上を図るようにしたいと考える。

10については、前年度よりも7ポイント上昇している。学級担任等が、具体的な学習方法などを示して取り組むよう促している成果が徐々に表れているように考える。さらに習慣化できるように工夫して取り組むようにしたい。家庭学習の時間として「学年×10分」の目標を今後も掲げるようにしたい。

◇児童から

(1) 肯定的回答率が90%以上の設問の例

1	気持ちのよいあいさつや返事をしている。	92%	+6
3	学校や社会のきまりやマナーを守ろうとしている。	95%	※
5	友だちのよいところや頑張っているところを、見つけることができる。	94%	+1
8	授業に一生けんめい取り組んでいる。	95%	※
17	先生方は自分の良いところや頑張ったことをほめてくれる。	94%	※
21	学校は楽しい。	95%	+2

1、3については、保護者の回答同様、高い肯定比率となっている。学校・家庭での指導等に合わせ、児童一人一人が大切なことだと感じ、それを行動に表すことができているからだと考え。

5については、前回のアンケート（R5年後期実施）同様、高い肯定比率となっている。児童の良好な人間関係づくりや信頼関係づくりにおいて大切な要素と考える。今後もこのような児童が増えるように、学校と家庭が協力して支援を施すようにしたいと考える。

8については、18「授業はわかりやすい」についての肯定比率94%、19「先生方は一人一人を大切にし、学習や生活で困っている時に助けてくれる」についての肯定比率92%から、児童本人の意欲的な取組と担任等の指導や支援の姿勢が要因になっていると考えられる。

17については、教職員が日常的に児童の言動の変化や行動をよく観察し、一人一人を大切にしている姿勢が、児童に伝わっているものと考えられる。

21については、前回のアンケートより2%上昇している。児童にとって、何より「学校が楽しい」と思えることが大切だと考える。児童一人一人には、個々に様々な悩みがあり、学習、仲間作り、生活習慣などで困り感を持つ児童もいる。その中で教職員が気持ちに寄り添い、これからも「学校が楽しい」と思える児童が増えるように努めていきたいと考える。

(2) 肯定的回答率が87%以下の設問

4	自分には、よいところがあると思いますか。	82%	- 2
6	困ったことや気になることを相談できる人がいる。	87%	※
22	本を読む習慣がついている。（朝読書を含める）	85%	※

4については、前回のアンケートより2%下降している。「自分の良いところやがんばったことをほめてくれる」と感じている児童が9割以上いるが、それが自分のよいところと結びつかなかったり、又は、自己肯定感が低かったりすることが要因として考えられる。今後は児童の成功体験を増やせるように指導や支援等を工夫したり、成功しないことでも、その取組を評価したりする等、児童一人一人の自尊心を育むように努めていきたい。

6については、同様の内容の保護者回答は97%となっているのに対して、児童の回答は87%となっている。SCとの全校面談や教育相談員の存在を知ること、周りに相談できる人がいると知っているものの、児童がまずは相談と考えるのは担任等の教職員だと予想される。教職員は今後も、一人一人を大切にする姿勢で、児童が話しやすい雰囲気や接するなど、相談しやすい環境作りを進めるようにしたい。

22については、朝の読書活動に落ち着いて参加している児童が多い中で、登校後の支度等に時間を要し、慌ただしく読書を開始する児童の姿も見られるため、全校児童が余裕をもって読書活動を進められるように指導・支援を行うようにしたい。

今年度は学校図書館司書や図書委員会が中心となり、児童が読書に興味をもつような企画を継続的に実施しているので、今後は児童の読書に対する興味・関心が高まり、本を読む習慣化がさらに図れるように期待したい。